



2025年2月 末長こぐま保育園 いちご組担任

年が明けて一か月が経ちました。お正月休み明けには、「あけましておめでとうございます！」と挨拶をすると頭を下げる子どもたち。お正月に家族や親せきと挨拶を交わした様子がうかがえました。「今年もよろしくお願いします」とお互いに深々と頭を下げるお正月の挨拶ごっこが繰り返され、とても可愛かったです。今年度も残り2か月を切り、このクラスで過ごす時間もあとわずか。これまで以上に1日1日を大切に、子どもたちと過ごしていきたいと思えます。寒い日が続いていますが、ますます活発になっていく子どもたちと、2月も沢山身体を動かして遊びたいと思います。



♪♪てくてくお散歩♪♪

立ち乗りバギーで散歩に出かけていますが、交代でバギーを降りて保育者と手を繋いで歩いて行くようになりました。園庭とは違い、道路は硬いアスファルトで凸凹もあり、歩く距離も長くなってきました。足の負担を考えると、歩きやすい靴の方が楽しくお散歩ができるようです。

そこで、外用靴や避難靴のサイズをご確認ください。3歳までは、3~4か月ごとに靴の見直しが必要と言われています。大きすぎると歩きにくく、怪我のリスクが上がったり、靴を履きたがらなくなったりします。小さすぎると指が痛かったり爪が割れたりして歩くのを嫌がったりします。サイズを確認する際は、中敷きの上に子どもの足を乗せ、かかとをぴったりと合わせた状態でつま先の余裕(0.5~10mm)を確認してください。

ご協力お願いいたします。



いちご組のあそび ～～投げる編～～

みんな“投げる”遊びが大好きです。食べ物やおもちゃを投げるのは困ってしまいますが、ポイっと投げる仕草は、ものを「ひきよせる」「つかむ」「はなす」という複合した動作が出来る証。楽しみながら体の機能を試している時期でもあるようです。また、「気に入らない」「いまは食べたくない」「じぶんでやりたい」などの意志を伝えるために投げたり、投げることで周りがびっくりしたり怒ったりする反応や、投げた物が落ちていたり転がっていく様子などを注意深くみたりしていることもあります。

いちご組では、「雪合戦ごっこ」で、毛糸の玉や柔らかいスポンジブロック、丸めた新聞紙を投げて遊んでいます。「エイッ！」と言いながら投げる姿がかわいく、最近はフォームがそれらしくなっています。「硬いおもちゃも投げてしまう？」と心配になりますが、心配ご無用。投げて良いかを自分で区別しています。すごいですね！

投げる遊びから、ボールを転がしたり蹴ったり、下から投げたりなどのボール遊びにつながります。これからも沢山“投げる”など身体を動かした遊びを楽しんでいきます。



「こんなこと出来るようになったよ！」

☆いちご組自慢します☆

日に日に成長しているいちご組の子どもたち。最近成長を感じるのは、「待つ」姿が見られるようになった事です。今までは、給食の配膳を待てずに声を出したり、隣の子の食器に手を出そうとしたりしていましたが、椅子に座って待っています！お散歩に行く場面でも、靴や上着を着る、バギーに乗るなど順番を待つ場面が沢山ありますが、玄關に”お座りトン”で座って待っています。まだお支度が出来ていないお友だちに「がんばれ」と応援しながら待つ子もいます。絵本も「何が始まるかな？」と期待した顔で座っています。

お友だちと一緒に何かを共有したい！という気持ちの表れでしょうね。

